

 **公社だより** ～水産千葉～

(発行者)  
公益財団法人 千葉県水産振興公社  
〒260-0013 千葉市中央区中央 3-3-1  
TEL 043-222-3181  
FAX 043-222-2440

**はじめに**

日頃より、公社の活動に御理解・御協力いただき、厚く御礼申し上げます。さて、本号では令和7年度下半期における業務の遂行状況をお知らせします。

**1 ノリ・ワカメ等の種苗生産**

東京湾で生産されるノリは「江戸前もの」として、磯の香りが豊かで旨み・甘みが強いのが特徴とされています。

公社では、今年度もノリ養殖に必須とされるカキ殻(のりの種)を漁業者に約10万枚配付しました。

また、千葉県は従来品種よりも色が黒く、旨み、歯切れ、口溶けともに優れる新品種海苔「CTBFL-P241」を開発しました。

公社では新たなブランド海苔としてこのカキ殻を生産し、漁業者に供給しています。



**カキ殻(のりの種)**  
新品種:CTBFL-P241

**2 アワビの種苗生産**

公社では県からの委託を受け、アワビ種苗の生産に取り組んでいます。

本県沿岸の浅場に生育するアワビは、磯根漁業の重要な資源であり、種苗放流は、資源の維持・増産に有効な対策となっています。

しかし近年、生産施設の老朽化や海水温の上昇など複合的な影響を受け、生産に支障が生じています。

そこで、簡易的なUV(紫外線)殺菌装置及びろ過装置を導入し、県からの技術指導を受けて取り組んだところ、今年度は目標計画数量である80万個に対し、90万個の稚貝を生産することができました。

引き続き、目標計画数量が達成できるよう努力して参ります。



**クロアワビ稚貝**



**紫外線殺菌装置とろ過装置**

**3 新たな取組(ナマコや大型藻類)**

公社では現在の海域環境に適合した新たな水産動植物を対象とした試験研究

に取り組んでいます。

本年度は、漁業者の収入を向上させるため、ナマコやウチムラサキガイの種苗生産試験を実施しています。

また、アラメ・カジメ等の大型藻類の種苗生産技術を習得中であり、県、漁協及び民間企業との連携により、磯焼けした藻場の回復に貢献できるよう取り組んでいます。



**ウチムラサキガイの稚貝**



**アラメの種苗(0.1mm)**

**4 担い手確保・育成の取組**

漁業経営課が運営する「千葉県海洋人材確保・育成センター」は、漁業就業の相談窓口として電話やネットでの対応と併せ、国や県が開催する漁業就業支援フェアへの参加等により、千葉県での漁業就業を目指す多くの方々から相談をいただいております。

お問い合わせ内容は、今すぐ就業したいという方から移住後の職業の選択肢

**【情報提供・マッチング】**

- ① ホームページ閲覧数：約100件/日
- ② 漁業就業支援フェア、電話等相談者数：169名

**【漁業体験】**

- ① 漁業インターンシップ（1～5日）  
漁業操業を体験し理解を深める事業：延べ13名
- ② 漁業就業体験（1カ月）  
一か月の就業体験で就業希望者が適正を判断する事業：2名

**【技術習得支援】**

- ① 中期漁業技術研修（3カ月）  
短期雇用により就業者と雇用者が双方で適正や能力を見極める事業：3名
- ② 長期漁業技術研修（1～2年）  
雇用契約を締結し漁業技術の習得を目指す事業：6名

として漁業を検討されている方、また、将来の漁業就業を見据えてインターンシップを希望する高校生など様々ですが、センターではこれらすべての声にお応えするため、求人情報の提供から体験・研修事業の提案など相談者に寄り添いながら段階に応じた丁寧な対応を心がけております。

今年度の主要な事業の実施状況については左記のとおりです。

**5 全国豊かな海づくり大会への協力**

令和9年秋に、「第46回全国豊かな海づくり大会くふさの国千波貝大会」が千葉県で開催されます。



漁業就業支援フェアでの就業相談



大会記念リレー放流(富津市、大貫小)

**【次年度に向けて】**

現在、センターではホームページの更新作業を進めており、4月からは更に充実した情報を提供させていただく予定です。

今後、魅力ある千葉県漁業の認知度向上に努めるとともに、担い手の確保・育成に有効な取組を推進して参ります。

当大会は、魚食国である日本の食卓に、安全で美味しい水産食料を届けるため、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、明日のわが国漁業の振興と発展を図ることを目的として、継続して都道府県の各地で開催されている国民的行事です。

公社では、大会の周知と機運醸成及び県民の水産業・水産資源への理解を深めることを目的に、県や市町村等と連携して、小学生等による稚魚のリレー放流を県内各地で実施しております。

**学校等の先生方へ**

公社は、栽培漁業の取組を将来に渡って持続的に展開していくため、小中学生等を対象とした普及啓発の取組に力を入れています。

放流体験のほか、出前授業についても、対応したいと考えておりますので、興味を持たれた学校関係者の方は、是非ご相談ください。

連絡先：（公財）千葉県水産振興公社  
 電話 043-222-3181  
 メール taiken\_bosyu@chisuihou.jp  
 担当課 栽培事業課